

● 日中総合文化芸術協会設立1周年記念公演 ●

ソプラノ **張柳春 & 趙寒陽** 二胡
ジョイントコンサート

ピアノ ● 北川美晃

趙元春 ● 二胡

揚琴 ● 劉 良

市橋あゆみ ● ピアノ

ピアノ ● 馮 佳

朱 新 建 ● 二胡

司 会 ● 米津由己

茉莉花二胡合奏団

2005年10月2日[日] 開演5:30PM 開場5:00PM

名古屋市青少年文化センター アートピアホール 11F

名古屋市中区栄3丁目18-1
ナディアパーク内デザインセンター

主催：日中音楽演奏協会 / 日中総合文化芸術協会 / 茉莉花二胡合奏団

企画協力：GLOBAL DAICHI / 大地エージェンシー

協賛：中国国際航空

後援：中国大使館 / 名古屋市 / 愛知県教育委員会 / (財)名古屋市文化振興事業団 / 中日新聞 / 東海テレビ放送 / (株)東明公司 / (株)日中青年旅行社

第一部

ふるさとものしらべ

郷音

• OPENING •

大合奏・大合唱

茉莉花二胡合奏団

Tàihúchuán

太湖船 〈太湖船〉

中国無錫民謡

Mòlìhuā

茉莉花 〈ジャスマインの花〉

中国南京民謡

• — •

趙寒陽 二胡独奏

揚琴：劉良 ピアノ：馮佳

Kōngshān niǎoyǔ

空山鸟语 〈空山鳥語〉

劉天華 作曲

Xiāngyīn

乡音 〈郷音〉

趙寒陽 作曲

Xǐsòng gōngliáng

喜送公粮 〈喜送公粮〉

顧武祥・孟津津 作曲

Sānménxiá chàngxiǎngqǔ

三门峡畅想曲 〈三门峡畅想曲〉

劉文金 作曲

• 二 •

張柳春 独唱

ピアノ：北川美晃

Yángguān sāndié

陽关三叠 〈陽関三疊〉

王維 詩 夏一峰 伝譜 王震亞 編曲

路地の子

三木露風 作詞 團伊玖磨 作曲

歌劇「ルサルカ」の Aria より

A. ドヴォルザーク 作曲

銀色の月

歌劇「清教徒」エルヴィーラの Aria より

優しい声が私を呼んでいた

V. ベルリーニ 作曲

• 三 •

北川美晃 & 馮佳 ピアノ二重奏

Huánghé

黄河 〈黄河〉

2 台のピアノのための曲 より

第 2 楽章 黄河頌

第 3 楽章 黄河憤

冼星海 作曲「黄河大合唱」より 殷承宗・儲望華・盛礼洪・劉庄 編曲

* 休憩 *

金 秋

趙元春 二胡独奏

揚琴：劉良 ピアノ：馮佳

Zhuimèng jīnghuá 追梦京華 〈追梦京華〉より 第3楽章 金**秋** 〈金秋〉 関乃忠 作曲

Jiāngnán chūnsè 江南春色 〈江南春色〉 朱昌耀・馬熙林 作曲

Kǎmén zhǔtí huànxiǎngqǔ 卡门主题幻想曲 〈カルメン幻想曲〉 サラサーテ 編曲

Hóngmèi suíxiǎngqǔ 红梅随想曲 〈紅梅随想曲〉 吳厚元 作曲

劉良 揚琴独奏

Yǐngshānhóng 映山紅 〈映山紅〉 付庚辰 作曲

趙寒陽 & 趙元春 二胡合奏

揚琴：劉良 ピアノ：馮佳

Běijīng yǒuge jīntàiyáng 北京有个金太阳 〈北京有个金太陽〉 蔣才如 編曲

Hóngqīngtíng 红蜻蜓 〈赤とんぼ〉 山田耕筰 作曲 劉長福 編曲

張柳春 独唱

二胡：趙寒陽・趙元春 揚琴：劉良 ピアノ：馮佳

Dàhǎi a 大海啊， 故**乡** 〈海よ、わが故郷〉 王立平 作詞/作曲

Xīng 星 〈昴〉 谷村新司 作詞/作曲

ENDING

大合奏・大合唱

Sàimǎ 二胡名曲大合奏 赛**马** 〈賽馬〉 黄海懷 作曲

趙寒陽訪日団一行 & 茉莉花二胡合奏団

日本唱歌大合唱 故**乡** 〈故郷〉 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲

演奏者全員&観客



ソプラノ

ちょう りゅう しゅん
張柳春

ZHANG LIUCHUN

ソプラノ歌手

中国江西省生まれ。16歳で江西地方歌劇団の舞台女優としてデビュー。上海音楽学院卒業。1992年より名古屋芸術大学、愛知県立芸術大学、東京芸術大学等、声楽を研鑽のため留学し、修士課程を修了。

王宝全、銭恵、中島基晴、神田詩朗、嶺貞子、フルヴィオ・ポッテガの各氏に師事。

中国歌劇「秦香蓮」に秦香連役、「宝蓮灯」に母役、「洪湖赤衛隊」に韓英役、イタリアオペラ「ボエーム」にミミとムゼッタ役、「椿姫」にヴィオレッタ役、「魔笛」に夜の女王役、「ヘンデルとグレーテル」に母役などに出演。リサイタルを8回開催。中国オペラとイタリアオペラの融合を実現した歌姫リリック・ソプラノと絶賛されている。幅広い音域と歌唱力の持ち主で、クラシックからポップスまで見事に歌いこなす。その他テレビ・ラジオ等に多数出演。音楽で中国と日本の架け橋を目指している。

現在、日中音楽演奏協会代表・演奏活動プロデューサー。日中総合文化芸術協会を運営し、日中音楽芸術公演、コンサート、リサイタルなどを全国各地で開催、企画・出演し好評を博している。



二胡

ちょう かん よう
趙寒陽

ZHAO HANYANG

中国二胡演奏家、二胡教育家

中国江蘇省常州市生まれ。

中国中央音楽学院民楽系卒業。1979年、同大学で行われた中国最高水準の音楽コンクール二胡部門優勝。

現在、中国中央音楽学院民楽系主任教授、大学院指導教官。中国二胡学会副理事長、中国民族管弦楽学会理事。中国文化艺术センター最高顧問。初来日。

中国民族音楽家として、ヨーロッパ、アジア諸国を歴訪し、演奏会や民族音楽の講義を行う。また、二胡関係の学術論文・楽譜集やCDアルバム・ビデオ教材などを多数発表。中でも、中国中央テレビで放映された中国初の民族楽器教育テレビ番組「しっかり学べる《二胡》教材」は日本でも日本語版DVDが発売され、好評を得ている。その一方、女子十二楽坊の二胡奏者、中国二胡コンテスト優勝者の師でもあり、卓越した指導力・演奏力は国内外において高く評価され、その業績は『中国音楽家名録』、ケンブリッジ大学の『世界紳士録』にも紹介されている。



ピアノ

北川美晃

KITAKAWA YOSHIKI

三重県出身。東京音楽大学ピアノ科卒業、愛知県立芸術大学大学院修了。全日本学生音楽コンクール入賞。ピアノ教育連盟ピアノ・オーディション全国大会入賞、東京サントリーホールでの「ショパン全曲演奏会」に出演。

井の倉純子、兼重直文、堀江孝子、竹尾聆子、山崎冬樹、D. ヨッフエの各氏に師事。

現在ピアニストとして中部地区を中心に演奏活動を行っている。

主に声楽、楽器、室内楽等の演奏。またクラシック以外にもシャンソン、ジャズライブ、三味線、中国古楽器との共演などでも幅広く活動。



二胡

ちょう げん しゅん
趙元春

ZHAO YUANCHUN

青年二胡演奏家

中国江蘇省常州市生まれ。

5歳から父である趙寒陽氏に師事。

北京市幼児、小・中学校・高校・大学の各コンテストなどで優勝。

現在、中央音楽大学民楽系在学中。初来日。

1994年、中国中央テレビ局銀河芸術団の団員として香港、マカオ、台湾、東南アジアで公演。2000年、中央音楽学院「龍音杯」にて優秀賞を受賞。

2001年、「天華杯」全国二胡コンテストで優勝。2003年、中央音楽学院「天天杯」独奏優秀賞を獲得する。2004年、18歳で初の二胡リサイタルを開催。

2005年、5月中国全国二胡コンテストの専門グループで優勝。

同年8月、中国青年代表としてアフリカのセイシェルにて行われた世界青年聯歡祭に参加。

りゅう こん
劉 良 LIU GEN

揚 琴

青年揚琴演奏家

中国遼寧省生まれ。中央音楽大学大学院修士課程修了。1995年「国際中国楽器コンテスト」優勝。1999年「山東省中国楽器コンテスト」優勝（伴奏賞も受賞）。2002年「中国青少年芸術祭独奏種目」優勝。自作した揚琴独奏曲「歩宮廷」で文化省新作品賞受賞。

2004年、山西省太原市演芸センターにて揚琴リサイタルを開催し好評を博す。2005年6月、著名二胡演奏家 姜建華氏の演奏会（於 上海音楽ホール）で揚琴伴奏を担当するなど大活躍中。現在、中央音楽大学民楽系講師。中国中央テレビ局「音楽教室」講座で揚琴伴奏を務めている。初来日。



ふう か
馮 佳 FENG JIA

ピアノ

青年ピアノ演奏家

中国江蘇省常州市生まれ。6歳よりピアノを始め、中国の全国コンテストで多数受賞。中国中央音楽大学の芸術団団員として、国内外の公演に参加し、好評を得る。2001年に中国中央音楽大学音楽教育学部に入学。2003年同大学のピアノ学部にも入学し、楊鳴教授に師事。現在同大学の2つの学部に在学。初来日。



しゅ しん けん
朱 新建 ZHU XINJIAN

二 胡

アマチュア二胡奏者

中国湖南省永州市生まれ。1986年留学のため来日、名古屋大学博士後期課程日本語文化専攻修了。現在、愛知学院大学外国人教師、名古屋大学講師、毎日文化センター中国二胡教室講師、茉莉花二胡合奏団顧問・二胡奏者、日中総合文化藝術協会会長、日本二胡学会会員。

高校卒業後、知識青年として赴いた農村で自ら農民劇団を創設し、バイオリンと二胡を始める。厦門大学入学後も学生劇団の二胡演奏者をつとめる。来日後はアマチュアの二胡奏者として毎年十数回、日中文化交流のための演奏活動を行なう。名古屋毎日文化センター中国二胡教室の講師を勤めることをきっかけに、茉莉花二胡合奏団（ジャズミン・アンサンブル）を創設、指導する（現在団員30名）。2004年に関西21世紀交響楽団と「二胡協奏曲 桜花縁」を共演。二胡関連編著書に『二胡独奏曲 桜花縁』『跟我学中国二胡』などがある。http://www.gctv.ne.jp/~molihua



市橋あゆみ ICHIHASHI AYUMI

ピアノ

ピアニスト・作曲家

名古屋市出身。愛知県立藝術大学音楽学部作曲専攻卒業。ピアノ教室講師。

中国の音楽・文化を愛し、二胡や竹笛などの伴奏を多数つとめるとともに、多くの作編曲を手がける。編曲した「二胡協奏曲 桜花縁」「海棠の花」は、2004年に関西21世紀交響楽団によって初演される。2005年には中国を訪問、各地の大学で中国のピアノの名曲「黄河」を独奏する。第7回長江杯国際コンクールピアノ部門入賞。茉莉花二胡合奏団、日中総合文化藝術協会所属、長久手町文化の家音楽デリバリストスタッフ。



米津由己 YONEZU YUMI

司 会

CBCレポートドライバーを務めた後、フリーアナウンサーとなりテレビ番組、ラジオパーソナリティとして活躍。現在、(有)ワイズ代表。結婚披露宴、イベント司会、CMナレーション等で活躍中。話し方教室「スピーカーズ」主宰。



中国二胡について

中国二胡 (Chinese Violin) は「胡琴」とも言い、簡単な構造からなる擦弦楽器ですが、時に哀愁を漂わせ、時に軽快に楽しく奏でることができ、独奏でも伴奏でも大活躍する中国民族音楽における代表的な楽器です。紫檀などの硬い木で作られた胴体に、二本の弦を張り、弦はそれぞれDとAに調弦されています。六角形や八角形の琴筒にニシキヘビの皮を張り、人の声に近い音色を出すことができます。弓に馬の尾を使用していることからバイオリンと同じく騎馬民族の楽器であったと推測できますが、シルクロードを伝って漢民族の文化に入ってきたのは、遙か一千年も昔の唐宋時代であったと考えられています。現代の中国二胡は、およそ88年にわたる三段階の発展をへて今の楽器の形と演奏スタイルを形成しました。

現代中国二胡発展三段階	1. 二胡革新段階 1918～1949	中国伝統の伴奏楽器から独奏楽器へ	「空山鳥語」
	2. 二胡創造段階 1950～1979	中国伝統文化の重宝として中国全土に発展	「三门峡畅想曲」
	3. 二胡昇華段階 1980～現在	中国の二胡文化として世界へ発信	「長城随想」

■現代中国著名二胡演奏家・教育家とその代表的二胡独奏曲（生年順）

周少梅 <1885-1938>	「虞舜熏風曲」全11曲	二胡の棹を90センチに
華彦君 <1893-1950>	「二泉映月」全3曲	二泉琴、4オクターブ演奏した盲目の演奏家
劉天華 <1895-1932>	「空山鳥語」全10曲	二胡の調弦をD（内弦）A（外弦）に
儲師竹 <1901-1955>	「祖国之恋」全4曲	劉天華の弟子
劉北茂 <1903-1981>	「小花鼓」全36曲	劉天華の実弟
張季讓 <1904-1961>	「溜冰舞」全7曲	指板付二胡創作
陳振鐸 <1905-1999>	「雨後春光」全6曲	劉天華の弟子
蔣風之 <1908-1986>	「漢宮秋月」全6曲	劉天華の弟子、蔣派二胡創始者
陸修棠 <1911-1966>	「懷鄉行」全7曲	南派二胡創始者
俞鵬 <1917-1946>	「平原競馬」全10曲	劉天華二胡繼承者
孫文明 <1928-1968>	「流波曲」全8曲	「無千金二胡」を試みた盲目の演奏家
王国潼 <1939->	「奔馳在千里草原」他	現在香港演芸学院中樂系主任教授
蔣巽風 <1940->	「山丹丹開花紅艷艷」他	現在中国二胡学会会長
周耀錕 <1945->	「黄河二胡協奏曲」他	現在日本二胡学会会長
閔惠芬 <1945->	「陽關三疊」他	現在上海民族樂團国家一级演奏家
趙寒陽 <1945->	「鄉音」他	現在中央音乐学院民樂系主任教授
楊長安 <1945->	「二胡独奏曲 桜花縁」他	現在湖南師範大学音乐学院教授

■主な在日二胡演奏家（日本二胡学会などによる）

北海道	愛知	京都	兵庫
郁晓光	張 濱	蘇曹娟	王 菲
張 喚	張照祥	韓秋月	
			広島
宮城	福井	大阪	姜晓艶
尹世高	李 丹	張連生	
		朱啓高	福岡
		沈金雲	趙国良
東京			
周耀錕	許 可	武樂群	シュウミン
賈鵬芳	楊興新	宋 雲	劉 鋒
賈鵬新	曹雪晶	羅 紅	張会斌
劉繼紅	巫謝慧	程化農	陳 敏
姜建華	王霄峰	王明君	



【二胡名曲】

◆ 空山鸟语《空山鳥語》 劉天華 作曲

中国二胡革新段階を代表する名曲。1918年創作、10年後の1928年に楽譜の決定版が発表された劉天華先生の傑作。「裏山に人影見えず、鳥のさえずりのみ聞こえる」。これは著名な言語学者である作者の兄、劉半農先生がこの曲の美しいイメージを表現した一句です。演奏では鳥の鳴き声のまねをしますが、この曲は「空山幽谷、百鳥争鳴」のイメージを表現しているため、具体的にどの鳥の声かではなく、それを抽象化し、一羽の鳥の鳴き声に似つかずしてすべての鳥の鳴き声に聞こえてくるような演奏がよいでしょう。

◆ 乡音《郷音》 趙寒陽 作曲

数年ぶりに帰省した旅人が、白髪蒼々の母親に会って胸がいっぱいになり、声も出ないまま立ちすくみ、ようやく心の底から故郷の言葉で「ママ！」と呼ぶところから、曲は始まります。弓の切り込み奏法とビブラートの使い分けで過去の苦難に満ちた生活を表現し、次の楽章では対照的にアレグロで故郷の今日の活気あふれる様子を奏でます。太鼓の音が聞こえてきたり、河南地方の風情が見えたり、また美しい歌が聞こえたりして次第にクライマックスへ。演奏者自身の作品であり、その斬新な奏法と切実な表現は見ものです。

◆ 喜送公粮《喜送公糧》 顧武祥・孟津津 作曲

1970年代の名曲。かつてMacの各国の音楽を紹介するソフトで中国二胡の代表曲として紹介されました。人民公社の農民が、豊作でどっしり重い米を天秤棒で担いで国の調達所へ向かう姿。重い米のざるを担いでも足取りは軽く、鼻歌さえ出たりする。収穫を迎えた田んぼでは互いに笑顔で挨拶し、汗を拭いて一服する。このころから中国経済は良くなりはじめました。農民たちの軽々しい足取りやうれしそうに掛け声などを、二胡の軽快なリズムで表現する様子をお聞き下さい。

◆ 三门峡畅想曲《三门峡暢想曲》 劉文金 作曲

中国二胡創造段階を代表する名曲。三門峡とは1957～1960年に黄河上流の三門峡市に建設された、当時中国最大のダム。黄河の三門峡ダム建設当時の風景と中国労働者の奮闘ぶりを背景に、イントロと7つの楽章とエンディングで構成され、二胡演奏技巧において、劉天華の「空山鳥語」から30年あまり経ってはじめてそれを越えたといわれる大曲です。1963年の中国音楽の祭典「上海之春」初の全国二胡コンクールで王国潼によって初演奏され、大好評を博しました。黄河の流れと三門峡ダムからどっと流れ込み飛ぶ飛沫が、眼前に現れてくることでしょう。作曲者の劉文金氏はこのほか「豫北叙事曲」（豫北叙事曲、1958）と「長城隨想」（長城隨想、1980）のいずれも大曲を作曲し、世界的に著名な二胡演奏家の閔恵芬氏と構想した「長城隨想」は、閔恵芬氏によって初演され、二胡昇華段階の代表曲となっています。

◆ 追梦京华《追夢京華》より 第3楽章 金秋《金秋》 関乃忠 作曲

「追夢京華」は4楽章構成の大曲で、北京の歴史文化や中華民族の伝統文化を謳歌した曲です。なかでも第3楽章の「金秋」は最も美しい秋の北京をイメージしていて、2008年の北京オリンピック開催に向けて皆で盛り上げていくにふさわしい曲ではないでしょうか。

◆ 江南春色《江南春色》 朱昌耀・馬熙林 作曲

いわゆる二胡南派の著名な曲で、長江南の豊かな大地と運河に恵まれた人々の一日の生活風景画といえるでしょう。作曲者のひとりとは著名な二胡演奏家でもある江蘇省歌舞団団長の朱昌耀氏で、演奏のため何回も来日され、最近では愛知万博会場でも演奏されています。

◆ 卡门主题幻想曲《カルメンの幻想曲》 サラサテ 編曲

サラサテがバイオリンのために編曲した「カルメン幻想曲」を、二胡のために編曲した曲。4弦で弾く曲が2弦で表現できるところに二胡演奏の進化が感じられ、演奏家の技量の見せどころとなっています。

◆ 红梅随想曲《紅梅隨想曲》 吳厚元 作曲

紅梅は中国の国花です。かつて「江姐」という中国女性革命家がありました。投獄されても断固として戦い、死を恐れない英雄でした。その崇高な革命の理想と英雄の気概を称えるために彼女のことは映画化され、歌劇にもなりました。映画の主題歌は「紅梅贊」。どんな寒さにもくじけず凜然と開花する紅梅を中国人は好みます。幾千年も抑圧された中国の女性が立ち上がることによってこそ、革命は成功し中国は変わるのです。この曲は歌劇「江姐」の音楽をもとに二胡独奏曲に編曲され、雄大な氣勢と悲壮な情調をもって女性革命家を創り上げました。奏法的にも新しい技巧を用いて、いまや二胡奏者にとって必須の教材であり、演奏会では常にアンコール曲となっています。

◆ 北京有个金太阳《北京有個金太陽》 蒋才如 編曲

チベット民謡をアレンジした二胡二重奏曲で、チベット民謡の特徴を生かした、独奏にも二重奏にも適した曲です。チベット民族の若い男女が鮮やかな民族衣装をまとい、輪になって手と手をつないで踊るリズム感にあふれたイメージが、二胡の軽快な演奏から伝わってくることでしょう。

◆ 赛马《賽馬》 黃海懷 作曲

二胡演奏家でもある黄海懷先生が1960年代初めに、モンゴル民謡をアレンジしたものです。1963年の「上海之春」初の全国二胡コンクールにおいて作曲者本人が演奏し、大きな成功をおさめました。モンゴル民族の祭りに欠かせない草競馬の様子を生き生きと表現し、演奏は最初から快速に始まって一気にクライマックスに達するところが見ものです。後にさらにアレンジされたものは、現在二胡演奏会においてなくてはならない曲となっています。

◆ 红蜻蜓《赤とんぼ》 山田耕柞 作曲 劉長福 編曲

日本唱歌「赤とんぼ」を二胡独奏曲にアレンジしたものです。6/8拍子の軽快なテンポで弾くところは見ものです。日本の曲を二胡独奏曲に編曲したものには、このほかに「二胡独奏曲 櫻花縁」（楊長安編曲）などがあります。

【ピアノ名曲】

◆ 黄河《黄河》— 2台のピアノのための曲— 殷宗・儲望華・盛礼洪・劉庄 編曲

黄河は中華民族のシンボルです。この曲は著名な音楽家である冼星海（1905～1945）の「黄河大合唱」より2台のピアノのために編曲されました。編曲者の一人、殷承宗は世界的に著名なピアニストで、現在はアメリカに在住。彼の生まれた中国廈門市コロンス島は、その昔、租界地として有名で裕福な人たちの別荘地になっていました。この島のピアノ所有率は高く、ほとんどすべての家にピアノがありました。このような環境に恵まれた殷承宗は、17歳のときに第2回チャイコフスキー・ピアノコンクールで第2位入賞。かの文化大革命の中で、殷承宗作曲そして伴奏の「鋼琴伴唱紅灯記」（鋼琴伴唱紅灯記）は中国を席捲しました。その後編曲されたのがピアノ協奏曲「黄河」で、この曲は渡米後の2000年に人民音楽出版社から出版されたものです。今回、日中両国のピアニストにより初演奏される「黄河」は第2楽章「黄河頌」と第3楽章「黄河憤」ですが、きっと記憶に残るものとなるでしょう。